

①安全で安心な水道の確保(安全)



安全で安心な水道水を提供できるよう、水源から皆さんの家庭までの水質管理を徹底していくよ。



安心して水が飲めるよう、水質基準に基づいて毎日市内各地で水を取って検査しています！

②災害に強い水道の確立(強靱)



災害時にも安定した給水を行うため、水道管や浄水場などの耐震化を、耐震性の有無や重要度を基に優先順位を付けて進めていくよ。

水道管の耐震化

●基幹管路*

10年間で約13km(事業費48億円)

●基幹管路以外(老朽管路)

10年間で約98km(事業費59億円)

※基幹管路は、皆さんの家に水道水を届けるための重要な太い水道管。壊れるとその先の広い範囲で断水が発生する。

水道管の耐震化～大きな揺れに対して～



地震などで水道管が破裂した時に、配水池(浄水場できれいになった水を貯めておく場所)から皆さんの元に届ける水の流出を防ぐために、配水池への緊急遮断弁*の設置も進めているんだ。配水池の中には避難所などに水を届ける際の給水基地になるところもあるから対策が重要なんだよ。

緊急遮断弁の設置

配水池88カ所のうち、

10年間で16カ所設置予定(事業費9億円)

※緊急遮断弁は、地震の揺れや水道管が折れて急激に増えてしまった水の流れを察知して自動的に閉じる弁

緊急遮断弁の仕組み



③水道運営基盤の強化(持続)



安定して水道水を提供するために、自己水(津市で作っている水)と県営水道(三重県から買っている水)の配分バランスや配水ブロックの見直しを検討するよ。水源の水質悪化や水量の減少が見られる地域、停電など非常時に課題がある地域については、安全・安心な水を安定して提供できるように、県営水道の水系に切り替えていくよ！

津市における自己水と県営水道の比率

自己水 49% : 県営水道 51%(平成29年度末時点)



三重県とも協力しながら水道事業を進めているんだね！



去年も日本各地で地震や豪雨の影響で水が使えなくなったり聞いたし、いつでも水道水を

使えるように対策してもらっていると安心だね。僕たちがいつでも水道水を使い続けるためには、地震に強い水道管にするなど、たくさんのことをしていく必要があるんだね！



今は当たり前のように水道水が使えるけど、今後自然災害や異常気象などで安全・安心な水道の維持が難しくなってくるかもしれないんだ。その分お金がかかるけど、さまざまな状況を想定した水道の整備が重要なんだよ。



今のことだけを考えていては駄目なんだね！昔の人たちが守り続けてきた津市のすばらしい水道を私たちの手で、次の世代につなげていこう！

今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。